

6

牧野富太郎について調べたことをまとめています。

(1)、(2)の各問いに答えなさい。

【調べて、まとめたこと】

牧野富太郎(図1)(1862~1957)

「日本の植物学の父」の呼び名で広く知られ、多数の新しい植物を発見。

日本に分布が限られている「ノジギク(図2)」を1924年に発見。

標本(図3)やスケッチ(図4)を作製し、図鑑にまとめた。



図1



図2



図3



図4

図1、2、4 出典 高知県立牧野植物園

図3 出典 東京都立大学牧野標本館

(1)

図4のスケッチを見て分かることとして、最も適切に説明しているものを1つ選びなさい。





| | | | |
|---|--|--|--|
| <p>○ 特徴を捉えてかかれているので、写真が無くてもスケッチから色などを推定することができます。</p>  | <p>○ 大きさが分かりやすくかかれているので、実際の大きさがイメージしやすい。</p>  | <p>○ スケッチされた植物の特徴が分かるようにかかれているので、ほかの植物と比較しやすい。</p>  | <p>○ 葉の細胞や茎の断面の様子などを、調べたいときに調べることができ、ほかの植物との違いを比較することができます。</p>  |
|---|--|--|--|

図5は牧野富太郎によるサクユリのスケッチです。



サクユリの特徴がよく分かるようにかかれていますね。



このスケッチから、サクユリの【茎の横断面】と【根】がどのようになっているか、予想できますね。



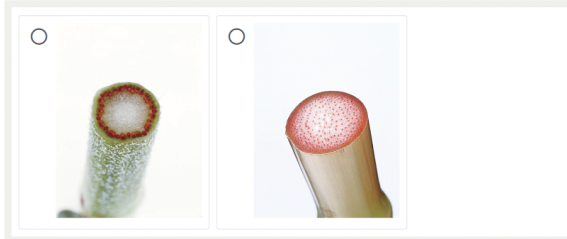
図5

出典 高知県立牧野植物園

(2)

下線部について、最も適切に表しているものをそれぞれ1つずつ選びなさい。

【茎の横断面】 赤い水を根から吸わせた結果



【根】

